

不撓不屈

普天間中学校だより
第2号
令和2年6月11日

教育目標

平凡を非凡に努め、不撓不屈の精神で何事にも挑戦し、自己実現に向かう生徒の育成

だれからも応援される部に！

部活動で「非認知能力」を身につける

雨後の緑がひととき濃く感じられる今日この頃。暑さも厳しさを増していますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、コロナ対策を意識した新しい生活様式の学校再開から3週間が経ちました。生徒たちは、学校に通える喜びを日々感じながら、元気に勉強や部活に励んでいます。

遅れた1ヶ月半を取り戻すべく、係や委員会、部活動などの結成(式や会)が次々と計画されています。

部活動結成式

6月5日(金)、部活動結成式が開催されました。三密回避のため、1年、2・3年、保護者会と三部形式で行われました。部活動は人づくりの一貫として行われます。以下、2・3年生にお話しした「非認知能力」について紹介します。



部活動再開日の礼儀正しい野球部

学力テストやIQなど、数値で測れる力を「認知能力」といいます。それに対して、点数で表せない力を「非認知能力」と呼びます。例えば、目標に向かって頑張る力、他の人とうまく関わる力、感情をコントロールする力などです。この非認知能力の有無が、将来の幸

せや経済的な安定に関係すると言われています。

前置きが長くなりましたが、この非認知能力を身につける絶好の場が「部活動」です。

あいさつ、言葉遣い、練習中の声出し、暑さや寒さに耐える、どうすれば上達するかを考え、実践するなど、部活動のすべてが非認知能力を鍛えることとなります。

このとき、「どうしてかな」「これがダメなら、あやうってみよう」などと、自分なりに試行錯誤し、決して諦めないことが大切です。そのようにして身につけた力は一生残ります。そして、必ず、大人になって自分を支えてくれる力となるのです。是非、自分の部活動で非認知能力を鍛えてください。

これに加えて、私からもう一つお願いがあります。それは、普天間のすべての部が「だれからも応援される部」になってほしいということです。そのためには、ど

んなに強くなっても、決して威張らず、皆さんを支えてくれる保護者や顧問の先生方はもちろん、一緒にプレイしてくれる仲間や道具、練習場所など、周りのすべてに「感謝の気持ち」を忘れないでほしい。そして、「練習させてもらっている、試合させてもらっている」という謙虚な気持ちを持ち続けてほしいということです。



PTA活動へのご協力お願い
6月10日(水)、今年度のPTA評議員会が開かれ、新役員の紹介や各専門委員会の顔合わせ、具体的な活動内容についての話し合いが行われました。PTA新聞の発行や美化作業、夜間街頭指導など、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、仲良く、楽しく取り組みます。PTA会員(保護者)の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いたします。



普天間中新型コロナウイルス感染症予防対策

その1「三密の回避」

- 【密閉回避】教室等の窓やドアは定期的に開放し、換気を徹底します。
- 【密集回避】教室等の席は可能な限りあけ、人との間隔を常に意識します。
- 【密接回避】近い距離での話し合いなどは可能な限り控えます。
給食は対面にならないようにし、配膳も必要最小限の人数で行います。

その2「ウイルスの拡散阻止」

- ・正しい「マスク」の着用や「咳エチケット」の徹底、こまめな「手洗い」をします。
- ・机、腰掛ナ、ドアノブ・手すり等を消毒します。

その3「生徒の体調管理の徹底」

- ・健康観察カードで体調確認後、体調不良の生徒へは個別に対応します。(生徒用玄関前で体温のチェックを行い、健康観察を確実にします)
- ※お家での検温で37.5℃以上の熱がある場合は、登校を控えてください。
- ・登校時、生徒用玄関で手の消毒を実施します。

その4「教職員の体調管理の徹底」

- ・健康チェックを行い、体調が悪い場合は、生徒とは接触しません。(出勤を控えます)
- ・マスク(場合によってはフェイスシールド)の着用、手洗い、咳エチケットを徹底します。

その5「いじめ・差別は許さない」

- ・新型コロナウイルス感染症に関連する差別的言動を慎み、適切な行動をとります。